

エネルギー地産地消の推進に向けた取組

28.3.14 環境・エネルギー室

基本方向

- ・地域特性を活かしたエネルギー地産地消の取組が進められるよう支援
- ・取組の熟度（段階）に応じたきめ細かい支援体制の構築

初期段階

〈事業研究段階〉

- ・自主的な研究会
- ・アイデア段階

〈体制の整備段階〉

- ・関係者の巻き込み
- ・方向性の共有

計画段階

〈可能性調査段階〉

- ・事業計画案の策定
- ・実施体制の確立

〈計画作成段階〉

- ・実施計画の確定
- ・資金等の準備

導入・事業化段階

〈事業実施段階〉

- ・導入事業
- ・各種助成の活用

＜地域省エネ・新エネ導入推進会議の活動強化（14会議）＞

- 新エネルギー賦存量推計システムの普及
- 地域における取組の「芽」の発掘・育成

＜アドバイザー派遣、シンポジウム開催等＞

- 地熱資源複合的利用促進事業
- 洋上風力発電普及促進事業
- 中小水力導入促進事業

＜省エネ・新エネ相談サポート＞

- エネルギー地産地消導入検討マニュアルなど

＜導入・事業化に向けた支援＞

- 地域新エネルギー調査・設計導入強化事業

＜省エネ推進の支援＞

- 戦略的省エネ促進事業

＜研究開発・製品開発等への支援＞

- 先進的エネルギー関連技術開発支援事業
- 先進的エネルギー関連製品開発支援事業
- 次世代エネルギープロジェクト事業化推進事業

＜導入・事業化支援＞

- 「一村一エネ」事業
- エネルギー地域循環促進事業
- 地熱資源複合的利用促進事業（再掲）

■調査・普及啓発

- 地域づくり総合交付金（ソフト系事業）

■導入事業化に向けた支援

- 地域づくり総合交付金（ハード系事業）
- グリーンニューディール基金事業
- 北海道産業振興条例に基づく助成
- 中小企業総合振興資金融資制度（省エネ・新エネ施設等の導入）

（注）●は財政支援、○は普及啓発など財政以外の支援
太字は、エネ室予算事業（別紙記載）